

## 大学改革

---

### 入試

1. 育てたい人物像「『ネアカ のびのび へこたれず』の精神を持つ」を見据えた入試制度、判断基準の確立
  - 入学者数 761 名(前年度 840 名)
  - 志願者数 1,784 名(前年度 2,370 名)
  - オープンキャンパス来場者数 3,122 名(前年度比 186.9%) ※クラブオープンキャンパス含む
2. 一般広報活動
  - 新聞雑誌掲載記事数 371 件(前年度比 76.7%)
  - 本学公式フェイスブックを立ち上げ、ホームページとは異なる視点で新着記事を広報した。又、OBOG 訪問大作戦という本学独自のアプリを開発し、新聞記事で 2 件掲載された。
  - 学内広報の徹底として、当年度より学内のさまざまな広報誌を集約の上、学内報(RYUKA 通信)を作成し、年 4 回(7 月、9 月、12 月、2 月)刊行した。

### 教育

1. 従来の講義暗記型、一方通行型の多人数教育から、参画型、少人数型教育への転換(特に初年次において)
  - 参画型教養科目について、受講者の定員を設定し、少人数教育を実施した。
    - 参画型教養科目  
「読書力」、「コミュニケーション技法と実践」、「変動する社会とくらし」、「プレゼンテーション技法と実践」、「生涯学習力」、「自己理解と他者理解」、「学習と自己実現」、「アジアを考える」、「リーダーシップと考える力」、「小売業の使命と魅力」
2. 学生に将来の夢や目標、興味・関心を入学後できるだけ早期に発見させることを目的とした初年次教育改革
  - 初年次教育改革タスクにおいて、学習習慣定着のきっかけを与える新プログラムの素案を提案した。
  - 前年度作成した外国語教材について、バージョンアップを実施し、新教材を活用し、授業を行った。

- 協定校への留学実績は、ワイカト大学 1 名、ポートランド州立大学 4 名、南台科技大学 1 名、東北財経大学 1 名(前年度実績:ポートランド州立大学 2 名、復旦大学 1 名)。
3. 社会連携推進プログラムの更なる推進
- 学園都市ゼミ対抗企画「日本盛杯」を開催。参加大学 4 大学(神戸学院大学、神戸芸術工科大学、兵庫県立大学、本学)43 チーム参加者総数 202 名(本学 124 名、他大学 78 名)に達し、開催以降最大規模となった(前年度は 2 大学 39 チーム約 190 名が参加)。なお本学チーム(山下貴子ゼミ:盛☆Girls)が初優勝を飾った。(提案内容「酒コスメ新商品」)
  - 神戸市と本学で開発を進めていた神戸旬菜の PR プロジェクトから、神戸市内の他大学を巻き込む形で発展した「KOBE にさんがろくプロジェクト」が開催されることとなり、神戸牛三昧弁当、いかなごパン、神戸杏仁真珠パン、神戸マシュメレンが提案され、「神戸牛三昧弁当」が優秀賞を受賞した。
4. 個別施策
- 入学前教育として、参加者同士の交流を促進するプログラムや大学生活を円滑にスタートし、充実させるヒントとなるプログラムを実施した。(参加者 128 名)
  - 「海外都市政策研修(総合政策学部)」を実施。参加学生 20 名、7 日間による韓国での実地研修を通して、韓国の交通政策を学んだ。
  - 「海外ホスピタリティ研修(サービス産業学部)」を実施。参加学生 21 名、5 日間による香港・マカオでの実地研修を通して、海外のホスピタリティの現状を学んだ。
  - SARD 第 10 回ワークショップを展開した。(10 周年として本学にて開催)
    - ・ 期間:11 月 30 日(金)~12 月 2 日(日) ・場所:本学
    - ・ 参加国:イギリス、フランス、スウェーデン、フィンランド、アメリカ、カナダ、チュニジア、中国、台湾、韓国、ベトナム、タイ、日本 の計 13 の国と地域
    - ・ 学会参加者数:52 名(前年度 70 名)
    - ・ 発表論文数:19 本(前年度 14 本)
  - 5 月、セントラルワシントン大学(アメリカ)と新規に協定を締結し、合計提携大学 20 校となった。

## 学生生活

1. 課外活動を中心とし、学生にルール・マナーを身につけさせるための施策検討
- 加入率 40.5%。(前年度比 108.0%)
  - 加入者数 1,485 名(前年度比 102.8%)
  - クラブ支援の強化策として、新たにサッカー一部、陸上競技部、軟式野球部、ラグビー一部、チアリーダ一部、女子ラクロス部の指導者計 6 名を配置した。

- 「ポイ捨て」をなくすための全クラブ合同のクリーンキャンペーンを継続実施。
2. 学生満足度(「流科大」へ来て良かったと思わせる)を更に向上させるための学生向けプログラム検討
- 学園祭の総来場者数 9,725 名
  - 12月22日(土)に学生全体表彰式を「ポートフォリオコンテスト」、「冬の節電アイデアコンテスト」を加え実施した。(表彰対象 17 団体、106 人)(前年度 21 団体、85 人)
  - 【表彰対象】学生懸賞論文、ポートフォリオコンテスト、レポート作文コンクール、冬の節電アイデアコンテスト、学生書評コンテスト、学生チャレンジプロジェクト、年度表彰「飛翔」
  - マルシン市場(本学社会連携事業)、学園祭での本学模擬店(教育後援会支援)にて南三陸町をはじめとする東北地方の物産を販売し、売上の一部を被災地へ寄付した。
  - 卒業生と在学生の結束強化を目的とし、10月20日(土)、ホームカミングデー実施。来学者数 97 名(うち卒業生 74 名)。在学生サポーター30 名が運営協力。
  - 5月7日(月)、みかんホールおよびレストラン 2 階奥に Wi-Fi 環境を導入し、5月10日(木)より運用を開始した。

## キャリア開発

1. 学生が自らの「個性」を認識するためのサポート、学生のキャリアプラン作りのサポート
- 当年度資格講座受講者 845 名(前年度 696 名)
  - SPI 対策講座を 4 月より 1 月までの期間、全 102 コマを実施した。のべ 932 名、実人数 209 名(うち 3 年生 178 名)が受講した。
  - 11 月 1 日(木)～12 月 7 日(金)の日程で 23 社にご協力いただき、業界研究セミナーを実施した。参加学生数はのべ 935 名(前年度 667 名)
  - 12 月～2 月上旬にかけて約 150 社にご協力いただき、企業説明会を実施した。参加学生数はのべ 4,822 名(前年度 3,923 名)
  - キャリア探検隊を継続実施し、34 名の学生が参加(訪問先: 製造業、卸売業、金融業、保険業等)
  - 有朋会による企画「シゴト交流会」を 11 月 9 日(金)に実施。本学卒業生 20 名にご協力いただき、就職活動を目前に控えた 3 年生 14 名に対して「シゴト」についての講義、アドバイスを実施していただいた。
2. 就職活動のサポート
- 留学生の就職支援として、就職説明会を実施した。

- 図書館の利用促進として、業界リサーチルーム(ラーニングコモンズ)として再編し、就職活動関連資料の利用率アップ、就職試験対策として「図書館の森」講座を実施した。
- 就職率 79.4%(前年度 74.5%)、就職内定率 97.5%(前年度 96.7%)

## 組織力・経営力強化

---

### 意思決定プロセス

1. 経営戦略会議の設置により、法人の方針に従って、大学が決定し遂行するプロセスの確立
  - 中内学園中長期計画(N-PLAN)の各項目における具体案を作成し、10月16日(火)の経営戦略会議および10月26日(金)の理事会・評議員会にて審議承認。

### 財務構造

1. 将来的に大幅な補助金削減があることを想定し、財務構造の磐石化を図る
  - 健全性の維持として、人件費、教育研究経費は予算内運用。管理経費は予算オーバーとなったが、3大経費合計としては予算内運用。
2. 第二の収益源確保対策検討
  - オープンカレッジ当年度受講者 1,053名(前年度 1,137名)。

### 投資計画

1. 選択と集中(中長期計画において必要な投資を決定すると同時に、不必要とされる経費の削減等を実施)
  - 国債、仕組み預金を中心としたローリスク運用を継続。

## 学園・大学の存在価値明確化

---

### 学園・大学の象徴となる組織の発展

1. 各業界団体と協力し、テーマを絞り込んだ研究会を実施するとともに、研究者(教育者)を採用、養成し、学園・大学の存在価値を明確にするための目標「リテールを一つの産業として確立させる」への基盤づくりを実施
  - 9月28日(金)、本学東京オフィスにおいて、「第三回リテール科学研究所意見交換会(テーマ:社会保障・税一体改革と年金制度改革について)」を開催し、流通関係協会の7協会7名、厚生労働省1名が出席した。
  - 2月19日(火)、20日(水)の2日間、コーネル大学リテール・マネジメント・プログラム・オブ・ジャパンの2月講座を本学にて開催。学長、本学教員3名による講演および懇親会を実施した。
2. 学園・大学の存在価値を明確にする中内・記念館、流通科学研究所、流通資料館の発展
  - 観光ビジネスモデル研究会(3回実施)
    - 第25回:12月14日(金)テーマ:「資産活用型宿泊施設経営」について
    - 第26回:1月22日(火) テーマ:「大丸心齋橋店の訪日客誘致の取り組み」
    - 第27回:3月1日(金) テーマ:「売るキャラ、くまモンの戦略 ー大阪でのブレイクから今までー」
  - まちづくり・流通研究会(6回実施)
    - 第14回:4月14日(土) テーマ:「持続可能なまちづくりとコンパクトシティ まちづくりと商店街」
    - 第15回:6月2日(土) テーマ:「東日本大震災後のまちづくりの課題」
    - 第16回:9月7日(金) テーマ:「地域活性化に対する考え方」
    - 第17回:11月22日(木) テーマ:「商工会議所におけるまちづくりへの取り組みについて」
    - 第18回:1月25日(金) テーマ:「まちづくり施策の「政策効果」について考える」
    - 第19回:3月21日(木) テーマ:「総括」
  - 8月、「震災と流通研究会」講演録の冊子を研究会成果物として発刊した。
  - 9月17日(月)、本学にて「中内記念ネアカ塾」を開催。地域住民参加型の身近なテーマを中心とした内容で22講座を開講し、のべ900名以上が参加した。